

祝！日本遺産認定

里麓武家屋敷通り・講演会



十二月八日（日）午後二時から今年五月に日本遺産に認定された里麓の武家屋敷通り講演会が開催されました。

日本遺産は、文化庁が2020年までに百の物語性のある土地や地域を認定する予定のプロジェクトです。

里麓は、鹿児島県内の薩摩武士が生きた町として、鹿児島を代表する武家屋敷群のひとつとして認定を受けたものです。

NPO法人「かごしま探検の会」代表の東川隆太郎さんによる県内麓地区についてのお話の後、それとの比較を通して里麓の魅力を、熱心にお話いただきました。

里地区コミュニティ協だより

里地区
コミュニティ協議会
事務局 3-2958

古くから人が居住した遺跡のある場所に、その後、武家屋敷群が建ち、現在に至っている事は、大変珍しい事例とのこと。

又、入来町から「くノ一」（くのいち）の会が演壇に立たれ、地域での取組みを話されました。

手打から参加されたコミ協会長さんは、「2月には、手打でも麓についての講演会をしたい」と、語られました。甕島の日本遺産。誇らしいですね。

オンボーロ人形づくり 人形作家 福永朝子さんのワークショップ



十二月七日（土）十時半から公民館で、普段は捨てているゴミから、操作できる人形を作りました。ゴミの殆どが、プラスチック。福永さんのフオローで、動く面白い玩具づくり。皆、集中して楽しく取組みました。パソコンで福永朝子と検索すると、素敵な作品を見ることが出来ます。

里研引会 大活躍

里研引会は、十二月一日（日）鹿児島県綱引き大会で優勝し、令和二年三月一日（日）の全日本綱引き選手権への出場を決めました。また、来年の鹿児島国体への出場が内定しました。おめでとうございます。

地域をあげて応援しましょう。